

海！命の故郷



NPO法人 北海道 海浜

活動のスローガン

1. 北海道の海辺を日本一美しく！
2. 守りたい地球、子どもたちの未来のために！
3. 海浜美化活動に参加して社会貢献を！
4. 海をきれいに！心もきれいに！



当会の目的と活動の方向性



「海！いのちの故郷」のスローガンの元、北海道の海と浜辺を日本一きれいにするために、地元住民や他団体との協力して清掃活動を行っています。

また、広く道民を啓発し、参加者の心身共に豊かな人格形成を目的としています。自然とのふれあいから、子どもたちに心温かな道德の高揚を図り教育を推進することが私たちの活動の目指すところです。

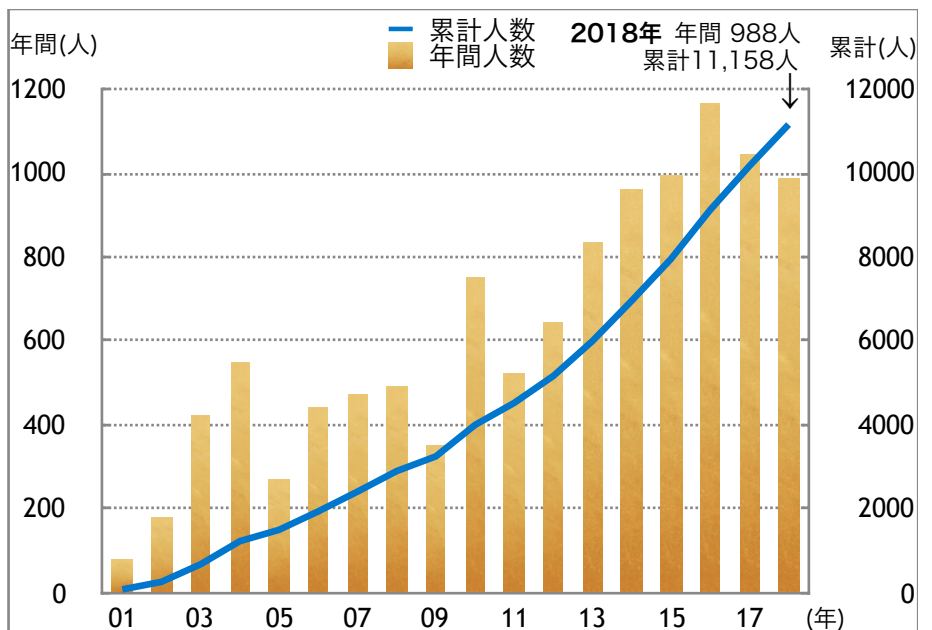


ネットワーク 美化をすすめる会



これまでの参加者数の遷移

年	回数	年間 人数	累計 人数
2001	1	80	80
2002	2	180	260
2003	3	420	680
2004	3	550	1,230
2005	2	270	1,500
2006	3	440	1,940
2007	3	470	2,410
2008	4	490	2,900
2009	4	350	3,250
2010	4	750	4,000
2011	4	525	4,525
2012	5	644	5,169
2013	5	834	6,003
2014	5	959	6,962
2015	7	995	7,957
2016	8	1168	9,125
2017	7	1045	10,170
2018	7	988	11,158



2018年の参加者数

回目	月日	場所	人数	ゴミ回収量
69	5/20	浜益	179	950kg
70	6/3	石狩	618	6040kg
71	6/24	洞爺湖	35	2500kg
72	8/1-3	奥尻	36	-
73	9/1,2	積丹	33	3800kg
74	9/23	石狩	50	1210kg
75	10/21	浜益	37	380kg



※奥尻、積丹は2日間の合計



海浜美化 2018年の歩み

当会は2001年に発足し、2006年にNPO法人格を取得。18年目となる今年は、7回の海浜美化活動と1回のフォーラムを開催し、988人が清掃活動に参加しました。

認定NPO法人北海道市民環境ネットワークと共催の「ラブアース・クリーンアップin北海道」のメインイベント「^{インターナショナル}ごみ拾いビーチウォーク」は9回目となり、今年も600人以上が参加。4回目となった「国際ごみ拾いビーチウォーク」は前回から当会のみ主催で開催し、石狩市からの提案で鮭祭りと同日程を合わせて、50人以上の参加がありました。

そして今年には奥尻島の海岸清掃を実施することができました。実現の背景には、島の漂着物の量の甚大さにSOSを当会に発した島の漁師のおかみさんが、長年に渡り奥尻町町役場へ問題提起と粘り強く交渉し、そして彼女の意見に承諾してくれた町役場課長の力もありました。離島で遠く交通や宿泊の問題もありましたが、バス会社の当会会員と、奥尻町、そしておかみさんの協力により解決してくれました。真夏の3日間頑張り、島の祈りの場所「賽の河原」もきれいになって、津波や海で亡くなった方々のご供養になれたと思います。

他にも、7回目となるエコツーリズムin積丹、12回目の洞爺湖町虻田海岸、18年間年2回清掃を続けている石狩市浜益区川下海岸などの活動は、地元の方々や市町村の休日出勤の担当者の方々、皆さんの力強いご支援ご協力があり、私たちは安心して海岸清掃ができてきました。もちろん、バス代を自費で、手弁当で参加してくださっている多くの参加者の皆さんの力も合わせて海岸の環境を保全出来てきました。心から感謝申し上げます。

